

一 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

今は昔、比叡の山に児ありけり。僧たち、宵のつれづれに、「いざ、aかいもちひせむ。」と言ひけるを、この児、心寄せに聞きけり。さりとして、し出ださむを待ちて寝ざらむも、①わろかりなむと思ひて、片方に寄りて、寝たるよしにて、出で来るを待ちけるに、すでにし出だしたるさまにて、ひしめき合ひたり。

この児、さだめておどろかさむずらむと、待ちぬるに、僧の、「もの申しさぶらはむ。おどろかせたまへ。」と言ふを、②うれしとは思へども、ただ一度にいらへむも、待ちけるかもぞ思ふとて、いま一声呼ばれてbいらへむと、念じて寝たるほどに、「や、な起こしたてまつりそ。をさなき人は、寝入りたまひにけり。」と言ふ声のしければ、③あな、わびしと思ひて、いま一度起こせかしと、思ひ寝に聞けば、ひしひしと、ただc食ひに食ふ音のしければ、ずちなくて、無期ののちに、「えい。」といらへたりければ、④僧たち笑ふこと限りなし。

問1 傍線部①「わろかりなむと思ひて」とあるが、児は何を「良くないだろう」と思ったのか答えよ。

問2 傍線部②「うれしとは思へども」とあるが、何を「嬉しい」と思ったのか説明せよ。

問3 傍線部③「あな、わびしと思ひて」とあるが、児が「つらい」と思った理由を説明せよ。

問4 傍線部④「僧たち笑ふこと限りなし」とあるが、僧たちが笑った理由を説明せよ。

問5 傍線部a、b、cを現代仮名遣いに改めて、ひらがなで記せ。

二 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

これも今は昔、絵仏師良秀といふありけり。家の隣より火①出で来て、風おしおほひてせめければ、逃げ②出でて、大路へ出でにけり。人の描かする仏も③おはしけり。また、衣着ぬ妻子なども、さながら内にありけり。それも④知らず、ただ逃げ出でたるをことにして、向かひのつらに⑤立てり。

⑥見れば、すでにわが家に移りて、煙・炎くゆりけるまで、おほかた、向かひのつらに立ちて、眺めければ、「Aあさましきこと。」とて、人ども来とぶらひけれど、さわがず。「いかに。」と言ひければ、向かひに立ちて、家の⑦焼くるを見て、うちうなづきて、時々笑ひけり。「あはれ、Bしつるせうとくかな。年ごろはわろく描きけるものかな。」と言ふときに、とぶらひに来たる者ども、「Cはいかに、かくては立ちたまへるぞ。Cあさましきことかな。ものつきたまへるか。」と言ひければ、「なんでふものつくへきぞ。D年ごろ、不動尊の

火炎をあしく描きけるなり。今見れば、かうこそ燃えけれど、⑧心得つるなり。これこそせうとくよ。この道を⑨立てて世に⑩あらむには、E 仏だによく描きたてまつらば、百千の家も出で来なむ。わたうたちこそ、させる能もおはせねば、ものをも惜しみたまへ。」と言ひて、あざ笑ひてこそ立てりけれ。

そののちにや、良秀がよぢり不動とて、今に人々めで合へり。

問1 傍線部A「あさましきこと」とあるが、どのようなことを指しているのか説明せよ。

問2 傍線部B「しつるせうとくかな」とあるが、良秀は何が「せうとく」だと考えたのか説明せよ。

説明せよ。

問3 傍線部C「あさましきこと」とあるが、どのようなことを指しているのか説明せよ。

問4 傍線部D「年ごろ、不動尊の火炎をあしく描きけるなり」を現代語訳せよ。

問5 傍線部E「仏だによく描きたてまつらば」を現代語訳せよ。

問6 傍線部①～⑩の動詞について、活用の種類と活用形を答えよ。(例 八四活用・未然形)

三 傍線部の現代語訳として最も適当なものを①～④から一つ選択せよ。

問1 蟬の声などもいと苦しげにきこゆれば、

- ① 感じられる ② 聞こえる ③ お聞きになる ④ 聞かせる [20]

問2 ひとわたりあそびて、琵琶弾きやみたる程に、

- ① 試用し ② 演奏し ③ 調律し ④ 練習し [10]

問3 をかしげなるちこの、かいつきて寝たる、いとらうたし。

- ① 安心だ ② かわいらしい ③ 高貴だ ④ 子供っぽい [32]

問4 命長くて、思ふ人々におくれなば、尼にもなりなむとぞ思ひける。

- ① 嫌われ ② 裏切られ ③ 先立たれ ④ 責められ [14]

問5 暮れがたき夏の日ぐらしながむれば、

- ① 真剣に頭を悩ませ ② 恋心を募らせ
③ 昔のことを思い出し ④ ぼんやり物思いにふけつ [9]

問6 親たち、かしづき給ふこと限りなし。

- ① 慰め ② 大切に育て ③ 美しく着飾らせ ④ 説教し [11]

問7 海の中にはつかに山みゆ。

- ① 霞む ② 見える ③ 隠れる ④ 見たい [18]

問8 秋になりて月いみじく明きに、

- ① 神々しく ② 比較的 ③ 恐ろしく ④ たいそう [3]

問9 うつくしきもの、瓜にかきたるちこの顔。
① 暮わしい ② 上品な ③ すばらしい ④ かわいらしい 【31】

問10 南谷の別院に宿して、憐愍へれんみんなの情こまやかにあるじせむらひ。
① もてなし ② 気づかい ③ 話し ④ 命じ 【6】

問11 この国になき物なり。いとかたき交易へあきなひなり。
① 難しい ② ばかげた ③ 迷惑な ④ 恐ろしい 【39】

問12 悩みわたりたまふこと、なほおこたらで、
① ひどくなら ② 快方に向かわ ③ 明らかになら ④ 他言し 【16】

問13 あさましき事かな。物のつき給へるか。
① うれしい ② 下品な ③ 思った通りの ④ 驚きあきれる 【33】

問14 車に乗りて、百人ばかり天人ぐして、のぼりぬ。
① 残し ② 引き連れ ③ 帰らせ ④ 遣わし 【7】

問15 ものにおそはるる心地して、おどろき給へれば、
① 目を見開き ② 目が覚め ③ 目を疑い ④ 目を凝らし 【5】

問16 御堂のつとめばかりにあひて、籠り居たりと聞き侍りしこそ、ありがたく覚えしか。
① 尊敬すべき ② めったにない ③ かたくなな ④ 不思議な 【40】

問17 仁和寺にある法師、年寄るまで石清水を拝まざりければ、こころうく覚えて、
① 恥ずかしく ② つらく ③ 残念に ④ みつともなく 【26】

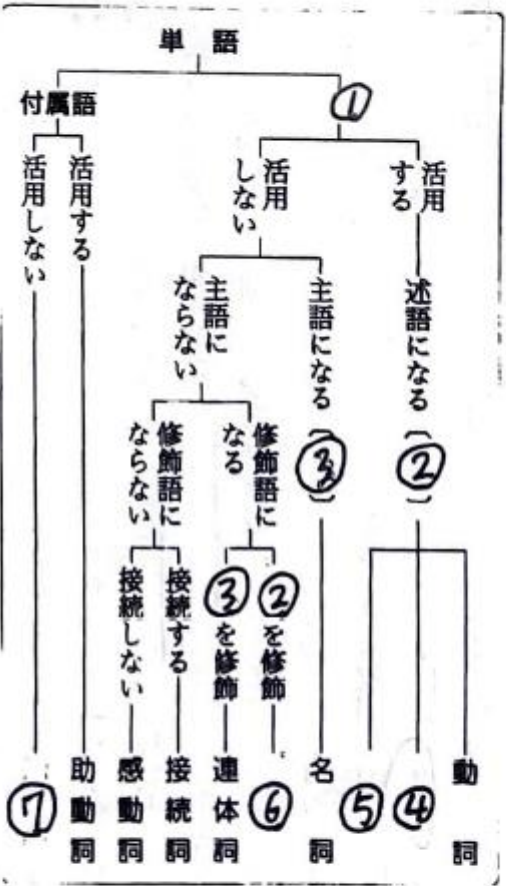
問18 八重にほふ軒端の桜うつろひぬ
① 花が折り重なる ② 花が咲き乱れる
③ 芳香を放つ ④ 美しく照り映える 【25】

問19 女君は、暑くむつかしとて御髪すまして、
① 多い ② 乱れている ③ 困難だ ④ 不快だ 【34】

問20 呼びにやりたる人の来ぬ、いとくちをし。
① 困ったことだ ② 残念だ ③ 不審だ ④ じれったい 【28】

四 次の問いに答えよ。

問1 次の空欄①～⑦に適切な漢字を当てはめ、十品詞の表を完成させよ。



問2 次の例に従って、解答用紙に印刷されている動詞の活用表を完成させよ。
例

思ふ	基本形	思	語幹	は	未然形	ひ	連用形	ふ	終止形	ふ	連体形	へ	已然形	へ	命令形
----	-----	---	----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----

点 ³ ₄ 四											三		点 ³ ₅ 二					点 ¹ 一												
問 ²											問 ¹		問 ⁶				問 ⁵	問 ⁴	問 ³	問 ²	問 ¹									
読む	似る	はべり	見ゆ	植う	死す	落つ	死ぬ	眺む	射る	基本形	副詞	自立語	助詞	体言	形容詞	形容動詞	⑩	⑦	④	①	問5	問4	問3	問2	問1	問5	問4	問3	問2	問1
											⑥	①	⑦																	
読む	似る	はべり	見ゆ	植う	死す	落つ	死ぬ	眺む	射る	基本形	副詞	自立語	助詞	体言	形容詞	形容動詞	⑩	⑦	④	①	問5	問4	問3	問2	問1	問5	問4	問3	問2	問1
読	×	はべ	見	植	死	落	×	眺	×	語幹	②	②	④	②	④	②	ラ変	カ下二	ラ四	カ変	絵仏師良秀の家が燃えてしまっていること 本物の炎を目の当たりにして不動尊の火炎の燃え方がわかったこと 自身の家が燃えているにもかかわらず、動じる様子のない良秀の様子 長年、不動尊の炎を下手に描いていたものだ。 仏だけ上手に描き申し上げれば、	かいもちいせん	くら	かいもちいせん	いらえん	問4	問3	問2	問1	
ま	に	ら	え	ゑ	せ	ち	な	め	い	未然形	②	②	③	④	②	④	活用	活用	活用	連用形	もう一度起こされるのを待っていたのに、起こすのを制止されてしまったから 僧が自分を起こすために声をかけてくれたこと ぼたもちを作り始めるのを待って寝ずにいること	くいにくう	ら	かいもちいせん	いらえん	問4	問3	問2	問1	
み	に	り	え	ゑ	し	ち	に	め	い	連用形	③	④	④	②	④	②	ア下二	タ四活用	ダ下二	タ変活用	ほんとうの炎を目の当たりにして不動尊の火炎の燃え方がわかったこと		ら	かいもちいせん	いらえん	問4	問3	問2	問1	
む	に	り	ゆ	う	す	つ	ぬ	む	いる	終止形	④	②	②	④	④	②	活用	已然(命令)形	連用形	ら	自身の家が燃えているにもかかわらず、動じる様子のない良秀の様子			ら	かいもちいせん	いらえん	問4	問3	問2	問1
む	に	る	ゆる	うる	する	つる	ぬる	むる	いる	連体形	⑤	④	④	④	④	④	活用	活用	活用	連用形	長年、不動尊の炎を下手に描いていたものだ。			ら	かいもちいせん	いらえん	問4	問3	問2	問1
め	に	れ	ゆれ	うれ	すれ	つれ	ぬれ	むれ	いれ	已然形							活用	活用	活用	連用形	仏だけ上手に描き申し上げれば、			ら	かいもちいせん	いらえん	問4	問3	問2	問1
め	に	れ	えよ	ゑよ	せよ	ちよ	ね	めよ	いよ	命令形							活用	活用	活用	連用形				ら	かいもちいせん	いらえん	問4	問3	問2	問1